

2015年4月-2016年3月  
**2016年3月期**  
**決算説明会**

2016年5月17日

代表取締役社長 佐藤悦郎



# 1. 連結損益計算書の概要



(単位：百万円)	2015年3月期	2016年3月期	増減率	業績計画	計画対比
	実績	実績			
売上高	441,723	442,042	+0.1%	452,000	▲2.2%
売上総利益	38,740	40,539	+4.6%	-	-
(売上総利益率)	8.8%	9.2%	+0.4 ポイント	-	-
販売費及び一般管理費	28,925	30,181	+4.3%	-	-
営業利益	9,815	10,357	+5.5%	10,000	+3.6%
(営業利益率)	2.2%	2.3%	+0.1 ポイント	2.2%	+0.1 ポイント
経常利益	10,353	11,039	+6.6%	10,500	+5.1%
(経常利益率)	2.3%	2.5%	+0.2 ポイント	2.3%	+0.2 ポイント
税金等調整前 当期純利益	12,174	10,754	▲11.7%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,494	7,190	▲4.1%	6,700	+7.3%

## 2. 事業セグメント別の販売状況

(単位：百万円)	売上高					
	2016年 3月期	対前期 増減率	2016年 3月期	対前期 増減率	2016年 3月期	前年同期 増減率
	3Q累計		4Q		通期実績	
産業機器部門	46,081	+2.7%	17,087	+1.9%	63,169	+2.5%
工業機械部門	83,506	+18.7%	33,241	▲7.4%	116,747	+9.9%
住設・管材・空調部門	91,497	+0.3%	36,403	▲0.5%	127,901	+0.1%
建築・エクステリア部門	33,136	▲1.4%	14,584	+0.7%	47,720	▲0.8%
建設機械部門	26,767	+6.8%	8,007	▲5.4%	34,775	+3.7%
エネルギー部門	21,747	▲28.9%	6,739	▲25.9%	28,487	▲28.2%
その他部門 (うち消費財) (うち木材)	19,076 (13,179) (5,885)	▲6.7% (▲5.2%) (▲9.9%)	4,164 (1,894) (2,200)	▲2.9% (▲5.5%) (▲3.3%)	23,241 (15,074) (8,086)	▲6.0% (▲5.2%) (▲8.2%)
合計	321,813	+1.8%	120,228	▲4.3%	442,042	+0.1%

# 3. 事業セグメント別の販売状況【産業機器部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	13,792	16,942	15,346	17,087	63,169
増減率	+2.8%	+2.9%	+2.4%	+1.9%	+2.5%
営業利益	94	466	380	478	1,420
増減率	+8.3%	+25.6%	+20.9%	+217.6%	+53.7%
営業利益率 (前年同期比)	0.7% (+0.1 <sup>ホ</sup> ｲﾝﾄ)	2.8% (+0.5 <sup>ホ</sup> ｲﾝﾄ)	2.5% (+0.4 <sup>ホ</sup> ｲﾝﾄ)	2.8% (+1.9 <sup>ホ</sup> ｲﾝﾄ)	2.2% (+0.7 <sup>ホ</sup> ｲﾝﾄ)

## 〈トピックス〉



EDI（電子商取引）が順調に拡大しています

## 〈実績〉

- ◇ **【売上高】 +2.5%増収**  
主力の切削工具、制御・測定機器、コンプレッサー、発電機、マテハン機器などの販売に注力
- ◇ **【営業利益】 +53.7%増益**
  - ・ EDI取引の拡大（30億円 +18.3%増）
  - ・ 在庫売上の拡大（76億円 +12.1%増）
  - ・ 環境省エネ機器の売上拡大（35億円+8.3%増）

# 4. 事業セグメント別の販売状況【工業機械部門】

〈四半期推移〉



(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	22,110	31,644	29,751	33,241	116,747
増減率	+36.7%	+11.5%	+15.5%	▲7.4%	+9.9%
営業利益	814	1,556	990	1,608	4,968
増減率	+76.4%	+16.7%	+10.8%	▲20.9%	+5.2%
営業利益率 (前年同期比)	3.7% (+0.8ポイント)	4.9% (+0.2ポイント)	3.3% (▲0.2ポイント)	4.8% (▲0.9ポイント)	4.3% (▲0.1ポイント)

## 〈トピックス〉



2015年10月に開設した米国サウスキャロライナ支店

## 〈実績〉

＜【工業機械部門】国内・海外別内訳＞

(単位：百万円)	国内	海外	合計
売上高	95,833	20,913	116,747
増減額	+16,483	▲5,973	+10,510
増減率	+20.8%	▲22.2%	+9.9%

◇【売上高】+9.9%増収

- ・国内補助金活用や北米エリアでの販売強化

◇【営業利益】+5.2%増益

- ・主導権を持った営業の徹底

# 5. 事業セグメント別の販売状況【住設・管材・空調部門】

〈四半期推移〉



(単位:百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	27,441	32,956	31,100	36,403	127,901
増減率	+1.5%	▲1.0%	+0.6%	▲0.5%	+0.1%
営業利益	536	1,207	1,016	1,478	4,239
増減率	▲9.4%	+1.8%	+57.5%	+0.5%	+8.8%
営業利益率 (前年同期比)	2.0% (▲0.2ポイント)	3.7% (+0.1ポイント)	3.3% (+1.2ポイント)	4.1% (+0.1ポイント)	3.3% (+0.3ポイント)

## 〈トピックス〉



住宅着工戸数の回復により主力商品  
(住設機器、管材、空調機器)が前年より伸長

## 〈実績〉

〈創エネ機器 (太陽光発電・蓄電池他) 販売実績〉

(単位:百万円)	住宅用 (10kW未満)	産業用 (10kW以上)	合計
売上高	14,799	3,164	17,963
増減	▲9.9%	▲51.8%	▲21.9%
構成比率	82.4%	17.6%	100.0%

◇【売上高】+0.1%増収

・主力の住設機器、管材、空調機器が伸長

◇【営業利益】+8.8%増益

・幅広い商材を強みにした提案営業の強化により増益

## 6. 事業セグメント別の販売状況【建築・エクステリア部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	10,395	10,794	11,947	14,584	47,720
増減率	+0.8%	▲2.9%	▲1.9%	+0.7%	▲0.8%
営業利益	226	260	326	456	1,269
増減率	▲8.4%	▲15.5%	▲0.7%	▲11.2%	▲9.2%
営業利益率 (前年同期比)	2.2% (▲0.2ポイント)	2.4% (▲0.4ポイント)	2.7% (+0.0ポイント)	3.1% (▲0.5ポイント)	2.7% (▲0.2ポイント)

### 〈主な取扱商品〉



住宅用エクステリア  
(物置、カーポート他)  
土木道路資材  
(ガードレール、橋梁他)  
外構資材 (フェンス他)  
金属建材 (車止め他)  
建築金物、他

### 〈実績〉

- ◇ **【売上高】 ▲0.8%減収**
  - ・再開発需要などの民間投資の増加により景観エクステリアや建築金物の販売が堅調に推移
  - ・公共工事の減少から土木・道路資材の需要が減
- ◇ **【営業利益】 ▲9.2%減益**
  - ・減収により減益

# 7. 事業セグメント別の販売状況【建設機械部門】

〈四半期推移〉



(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	6,147	11,033	9,586	8,007	34,775
増減率	+18.6%	+5.4%	+1.7%	▲5.4%	+3.7%
営業利益	116	413	252	150	933
増減率	+23.7%	+14.4%	+5.4%	▲21.6%	+5.2%
営業利益率 (前年同期比)	1.9% (+0.1ポイント)	3.7% (+0.2ポイント)	2.6% (+0.1ポイント)	1.9% (▲0.4ポイント)	2.7% (+0.1ポイント)

## 〈トピックス〉



Genie社（米国）製  
高所作業車



中古建設機械オークション事業（YUMAC事業）では集荷量を増やし品揃えを強化

## 〈実績〉

### ◇【売上高】 +3.7%増収

- ・首都圏を中心に高所作業車の販売が堅調に推移
- ・中古建機オークション事業が緩やかに回復

### ◇【営業利益】 +5.2%増益

- ・新商材提案やディストリビューター機能発揮に注力



# 8. 事業セグメント別の販売状況【エネルギー部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	7,757	6,891	7,099	6,739	28,487
増減率	▲27.4%	▲29.6%	▲29.8%	▲25.9%	▲28.2%
営業利益	21	93	72	127	314
増減率	-	21.9%	▲46.8%	▲38.9%	▲22.2%
営業利益率 (前年同期比)	0.3% (-)	1.4% (+0.6 <sup>ホ</sup> ｲ卜)	1.0% (▲0.4 <sup>ホ</sup> ｲ卜)	1.9% (▲0.4 <sup>ホ</sup> ｲ卜)	1.1% (+0.1 <sup>ホ</sup> ｲ卜)

## 〈主な取扱商品〉



石油製品  
民生用燃料  
船舶用燃料  
産業用燃料、他

## 〈実績〉

◇ **【売上高】 ▲28.2%減収**

・ 原油価格の下落が継続

◇ **【営業利益】 ▲22.2%減益**

・ 売上減の影響による減益

# 9. 事業セグメント別の販売状況【その他部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1Q実績 (2015.4-6)	2Q実績 (2015.7-9)	3Q実績 (2015.10-12)	4Q実績 (2016.1-3)	合計
売上高	5,215	6,157	7,704	4,164	23,241
増減率	▲12.1%	▲4.0%	▲4.8%	▲2.9%	▲6.0%
営業利益	▲44	114	115	16	201
増減率	-	+14.5%	+8.2%	-	+97.0%
営業利益率 (前年同期比)	-	1.9%	1.5%	0.4%	0.9%
	-	(+0.3ポイント)	(+0.2ポイント)	-	(+0.5ポイント)

## 〈主な取扱商品〉



季節家電（扇風機、コタツ、ストーブ他）、調理家電、生活家電、木材製品、他



## 〈実績〉

- ◇【消費財事業】売上高15,074百万円（▲5.2%減収）
  - ・生活・調理・季節家電などのPB商品の品揃え強化
  - ・ECサイト「ユアサeネットショップ」での販売強化
 売上高202百万円（+3.6%増）
  
- ◇【木材事業】売上高8,086百万円（▲8.2%減収）
  - ・円安により住宅用木質部材が低調に推移
  - ・輸入木枠梱包材の販売を強化

# 10. 売上総利益・販売管理費・営業利益・経常利益・当期純利益



(単位：百万円)	2015年3月期	2016年3月期	増減額	増減率
	実績	実績		
売上総利益	38,740	40,539	+1,799	+4.6%
売上総利益率	8.8%	9.2%	+0.4% <sup>1)</sup>	-
販売管理費	28,925	30,181	+1,256	+4.3%
営業利益	9,815	10,357	+542	+5.5%
営業外収益 (受取利息、配当金、他)	1,762	1,822	+60	-
営業外費用 (支払利息、他)	1,224	1,141	▲83	-
経常利益	10,353	11,039	+685	+6.6%
特別利益	2,622	112	▲2,510	-
特別損失	800	396	▲404	-
税金等調整前当期純利益	12,174	10,754	▲1,420	▲11.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,494	7,190	▲303	▲4.1%

# 1 1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)



2015年3月期		2016年3月期		2015年3月期	
流動資産 169,256	▲185	流動資産 169,070	流動負債 141,016	▲5,024	流動負債 146,041
			固定負債 4,567	▲1,604	固定負債 6,171
固定資産 35,641	▲1,820	固定資産 33,821	純資産 57,307	+4,623	純資産 52,684

**負債1,455億円  
(▲66億円)**

- ・借入金 ▲69.6億円  
(期末借入金残高)  
49.7億円  
(ネット有利子負債残高)  
▲256.8億円

**総資産2,028億円 (▲20億円)**

- ・現金及び預金 ▲5.9億円

**純資産573億円 (+46億円)**

- ・利益剰余金 +53億円
- ・自己資本比率 28.0% (目標値25.0%以上)
- ・ROE (自己資本当期純利益率) 13.2% (目標値13.4%維持)

# 12. 連結キャッシュフローの状況

(単位：百万円)	2015年 3月期	2016年 3月期	前年比
営業活動による キャッシュ・フロー	12,476	9,114	▲3,361
投資活動による キャッシュ・フロー	3,550	▲589	▲4,139
財務活動による キャッシュ・フロー	▲11,810	▲8,982	+2,828
現金及び現金同等物 に係る換算差額	345	▲137	▲482
現金及び現金同等物の増減額	4,560	▲594	▲5,155
現金及び現金同等物の期首残高	26,470	31,031	+4,560
現金及び現金同等物の期末残高	31,031	30,436	▲594

・税金等調整前当期純利益他  
+107億円

・ソフトウェアの購入他  
▲6.1億円

・借入金返済  
▲69.3億円  
・配当金の支払  
▲18.7億円

# 1 3 . 連結業績計画



(単位：百万円)	2016年3月期	2017年3月期		
	実績	前半計画	後半計画	通期計画
売上高	442,042	215,000 (+2.7%)	232,000 (▲0.3%)	447,000 (+1.1%)
売上総利益	40,539	20,600 (+6.8%)	21,600 (+1.6%)	42,200 (+4.1%)
(売上総利益率)	9.2%	9.6% (+0.4ポイント)	9.3% (+0.2ポイント)	9.4% (+0.2ポイント)
販売費及び一般管理費	30,181	16,200 (+8.7%)	15,500 (+1.4%)	31,700 (+5.0%)
営業利益	10,357	4,400 (+0.4%)	6,100 (+2.1%)	10,500 (+1.4%)
(営業利益率)	2.3%	2.0%	2.6%	2.3%
経常利益	11,039	4,800 (+1.2%)	6,500 (+3.3%)	11,300 (+2.4%)
(経常利益率)	2.5%	2.2%	2.8%	2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,190	3,310 (+0.8%)	4,190 (+7.2%)	7,500 (+4.3%)

# 14. セグメント別連結業績計画

(単位：百万円)		2016年3月期	2017年3月期		
		実績	前半計画	後半計画	通期計画
【産業機器】	売上高	63,169	31,800 (+3.5%)	33,500 (+3.3%)	65,300 (+3.4%)
	営業利益	1,420	640	970	1,610
	(営業利益率)	2.2%	2.0%	2.9%	2.5%
【工業機械】	売上高	116,747	55,400 (+3.1%)	58,200 (▲7.6%)	113,600 (▲2.7%)
	営業利益	4,968	2,500	2,640	5,140
	(営業利益率)	4.3%	4.5%	4.5%	4.5%
【住設・管材・空調】	売上高	127,901	63,700 (+5.5%)	69,800 (+3.4%)	133,500 (+4.4%)
	営業利益	4,239	2,000	2,560	4,560
	(営業利益率)	3.3%	3.1%	3.7%	3.4%
【建築・エクステリア】	売上高	47,720	21,500 (+1.5%)	27,200 (+2.5%)	48,700 (+2.1%)
	営業利益	1,269	530	930	1,460
	(営業利益率)	2.7%	2.5%	3.4%	3.0%
【建設機械】	売上高	34,775	18,000 (+4.8%)	18,500 (+5.1%)	36,500 (+5.0%)
	営業利益	933	540	540	1,080
	(営業利益率)	2.7%	3.0%	2.9%	3.0%
【エネルギー】	売上高	28,487	13,000 (▲11.3%)	12,900 (▲6.8%)	25,900 (▲9.1%)
	営業利益	314	120	210	330
	(営業利益率)	1.1%	0.9%	1.6%	1.3%
【その他】	売上高	23,241	11,600 (+2.0%)	11,900 (+0.3%)	23,500 (+1.1%)
	営業利益	201	70	140	210
	(営業利益率)	0.9%	0.6%	1.2%	0.9%
【合計】	売上高	442,042	215,000 (+2.7%)	232,000 (▲0.3%)	447,000 (+1.1%)
	営業利益 小計	13,346	6,400	7,990	14,390
	全社消去	▲2,988	▲2,000	▲1,890	▲3,890
	営業利益連結合計	10,357	4,400	6,100	10,500
	(営業利益率)	2.3%	2.0%	2.6%	2.3%

2014.4-2017.3 中期経営計画

# YUASA LEGACY 350

「産業と暮らし」の分野で  
アジア最大級の「流通プラットフォーム」を構築



ユアサ商事株式会社

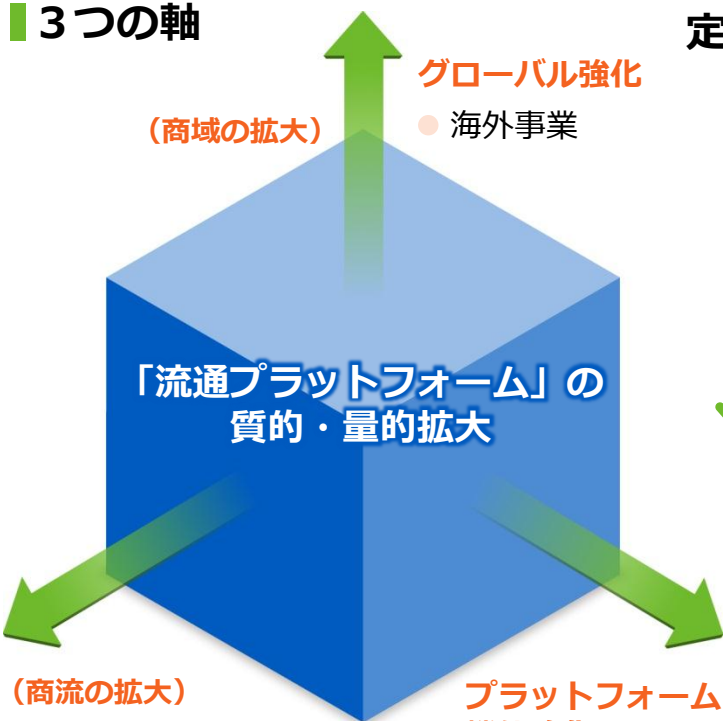


# 1. YUASA LEGACY 350 の骨子



3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」の基盤を構築。さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、連結経常利益額100億円以上を常態化できる強固な経営基盤を確立します。

## 3つの軸



**グローバル強化**  
● 海外事業

## 定量目標

成長分野（海外、環境エネルギー、国土強靱化）を伸ばしながら

	2016.3 計画	2016.3 実績	最終年度 当初計画	2017.3 業績予想
連結売上高	4,520億円	4,420億円	5,100億円	<b>4,470億円</b>
連結経常利益	105億円	110億円	125億円	<b>113億円</b>
連結経常利益率	2.3%	2.5%	2.5%	<b>2.5%</b>
連結当期純利益	67億円	71億円	72億円	<b>75億円</b>

## 経営効率の向上&財務体質の強化

ROE	-	13.2%	13.4%維持	<b>13.0%</b>
自己資本比率	-	28.0%	25.0%以上	<b>30.0%</b>

**プラットフォーム機能強化**

- 情報力強化
- 人材力強化
- 本社機能強化
- 財務体質強化

## 安定的な配当

連結株主還元率	-	30.6%	25.0%平均	<b>27.9%</b>
---------	---	-------	---------	--------------

## 国内成長分野の開拓

- 環境エネルギー事業
- 国土強靱化対応事業
- 6つのコア事業セグメント

# 2. 海外事業



単位：億円  
 ■ 環境分野(輸出) ■ インフラ・建築分野(輸出)  
 ■ 工場分野(輸出) ■ 輸入(木材・消費財)

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

## 海外事業

**商域の拡大**

3つの分野(工場分野、環境分野、インフラ・建築分野)で海外事業を拡大します。

### 成長分野の業績指標

2017年3月期目標

海外取扱高

410億円

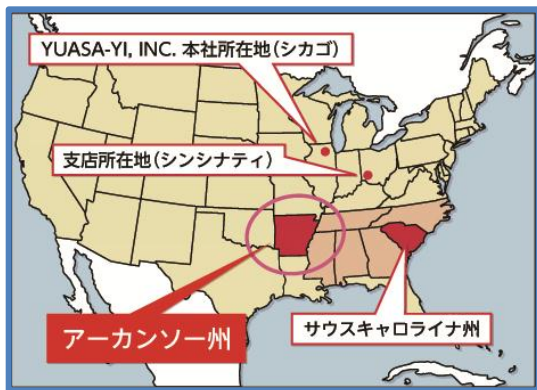
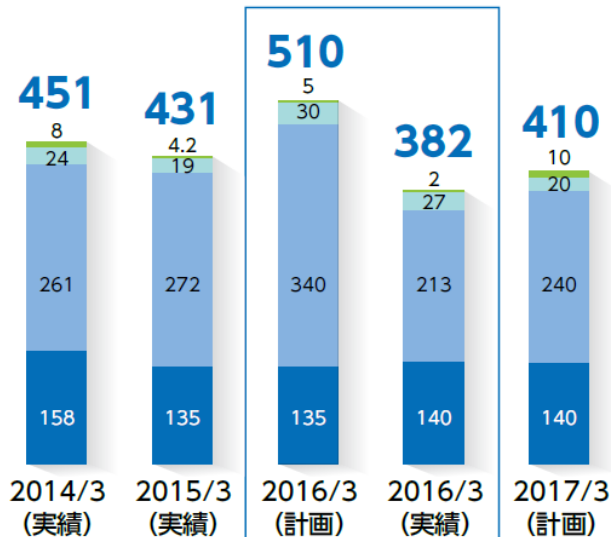
海外取扱比率

9.2%

### 施策・事業例

アジア・北米・中米での  
**工作機械販売の拡大**

アジアでの  
**建設機械・環境機器販売の拡大**



米国南東部7州においてマシニングセンタの販売体制を強化します



東南アジアでの新商品展示会を通じ最新設備の情報発信に注力します

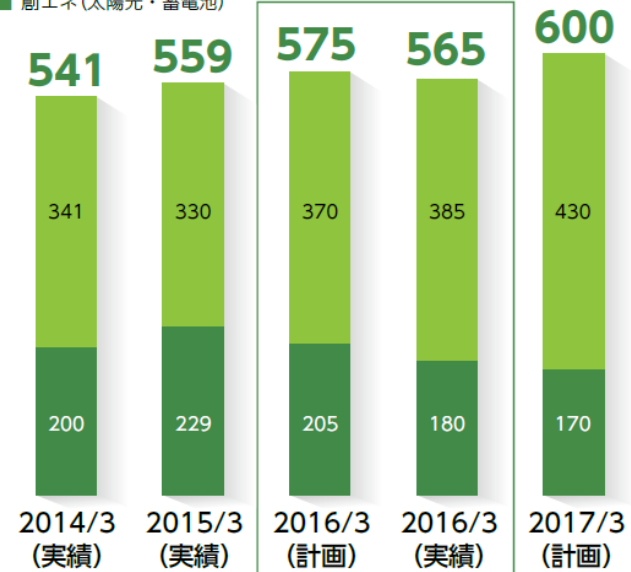
- 米国南東部7州でOKK(株)の独占販売権を取得しマシニングセンタの販売体制を強化
- 東南アジアにおける工作機械販売事業についてエンジニアリング体制を強化
- 東南アジアにおける建機(ミニショベル)販売事業を強化

# 3. 環境エネルギー事業



単位：億円

■ 省エネ・節電  
■ 創エネ (太陽光・蓄電池)



中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

## 環境エネルギー事業

商流の拡大

つくす みる つかう  
「創エネ+蓄エネ+省エネ」をコンセプトに、エンジニアリングの提案からメンテナンスまで一貫したサービスを提供します。

成長分野の業績指標

2017年3月期目標

環境機器売上高

600億円

施策・事業例

創エネ (太陽光・蓄電池) 販売の維持

節電・省エネ機器の販売 (工場・建設)

## ■ ネット・ゼロエネルギーハウス (ZEH・ゼッチ)

YUASA 『ZEH』パッケージプラン

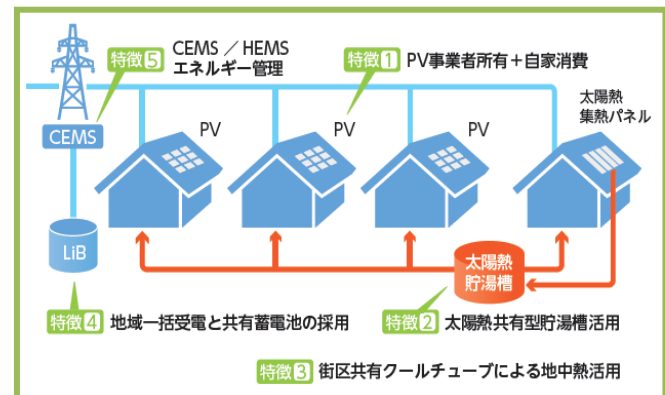
商品提案

太陽光発電  
蓄電池  
省電機  
省エネ照明  
省エネ空調機  
省エネ給湯機  
省エネ冷蔵庫  
省エネ洗濯機  
省エネ乾燥機  
省エネテレビ  
省エネパソコン  
省エネプリンター  
省エネカメラ  
省エネスマートフォン  
省エネタブレット

24時間緊急対応サービス

戸建て住宅のZEH (ゼッチ) 化に向けたパッケージ提案をスタートしています

## ■ スマートコミュニティ事業



エネルギーの地産池消を目指す全国の自治体や住宅分譲地に向けた提案を行います

# 4. 国土強靱化対応事業

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

## 国土強靱化 対応事業

### 商流の拡大

ハード(レジリエンス商品)とソフト(BCP支援、耐震化支援)の両輪により企業の防災・減災・BCP活動を支援します。

### 成長分野の業績指標

2017年3月期目標

レジリエンス商品売上高

150億円

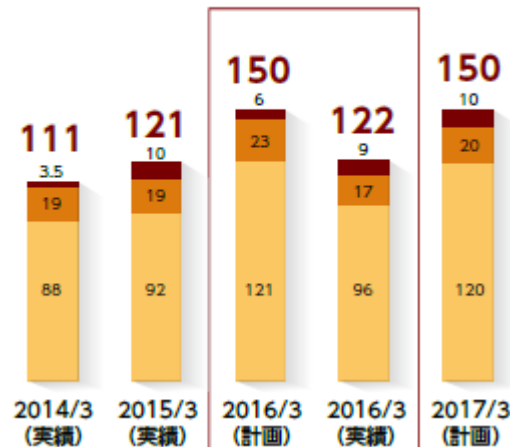
施策・事業例

レジリエンス新商品の開発

BCP、耐震化提案(企業・自治体向け)

単位：億円

工場分野 住環境分野  
インフラ・建築分野



取引先様との大規模地震対応模擬訓練を推進しています



「耐震診断」から「補強・改修工事」までワンストップで提案します

- 2015年4月より「災害対応に関する統合ソリューション事業」をスタート
  - ・ 当社取引先向けに「大規模地震対応模擬訓練」を実施し、災害時に必要なソフト&ハードを提案
- 2015年4月より「耐震診断・補強・改修」の提案営業を継続中
- 当社内にて、防災提案に関する指南役「ユアサレジリエンスリーダー」を育成(62名)

# 5. 経営基盤強化

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

## 経営基盤強化

情報力強化・拠点機能強化  
人材力強化

プラットフォーム  
機能強化

ITインフラ整備と拠点機能強化、人材力強化による経営基盤整備により、「産業とくらしの流通プラットフォーム」の機能強化を図ります。

## 新・関東物流センターが稼働

～多様な商品&機能を提供する流通プラットフォームへ～

当社は、関東圏の3カ所に分散しておりました物流拠点を「ユアサ商事関東物流センター」(千葉県柏市)に統合し、2016年5月6日より業務を開始いたしました。多様な取扱商品を多様な機能と共に提供する「産業とくらし」の流通プラットフォームとして、お取引先様のお役にたてる物流サービスを展開いたします。



### ポイント

1 納品リードタイムの短縮により、即日配送エリアが拡大！

これまで特定の専用便のみに限られていた即日配送サービスの対象が専用便以外にも拡大されます。また即日配送エリアが拡大いたしました。



2 納品状況を見える化。WEBより配送状況の確認が可能に。

専用ホームページ(WEB貨物追跡サービス)よりリアルタイムに商品の配送状況確認可能となります。



3 物流拠点の集約化により当社ならではの多様な取扱商品群をワンストップでサポート。

複数の物流拠点の統合により、工具からバルブまで高専門性が商品群の集約化を実現。常時約10万点の商品を在庫しており即納が可能となります。

常時約10万点

産業機器  
住設・管材・空調  
建材  
建機

4 商品をセンターで加工・組立して発送！「加工物流機能」。

関東物流センターでは加工・組立機能も有しております。特定のメーカーにおける商品のセット出荷により、納品リードタイムの短縮が可能となります。



# 6. 創業350周年・次なるイノベーションに向けて



西暦・年号	沿革
1666年（寛文6年）	【創業】初代湯浅庄九郎が京都にて木炭商を創業（5年後に打ち刃物問屋に転業）
1919年（大正8年）	【設立】株式会社湯浅七左衛門商店開設（本店 京都）
1992年（平成4年）	【合併】旧湯浅商事とユアサ産業が合併、新社名「ユアサ商事株式会社」
2016年（平成28年）	創業350周年を迎える

「産業とくらし」の未来に不可欠な「ロボットイノベーション」  
の分野に挑戦してまいります。

## 【産業分野】

- **【新事業】** ロボットのセットアップやアフターサービスを専門に請け負う体制を整備



産業用ロボットのセットアップには高度なエンジニアリング機能が要求されます

## 【医療・介護・生活分野】

- **【新商品】** パワーアシストスーツの取扱を開始



医療・介護分野だけでなく物流倉庫など幅広い業界で注目されるパワーアシストスーツ

# 7. 産業とくらしの「グランドフェア2016」開催

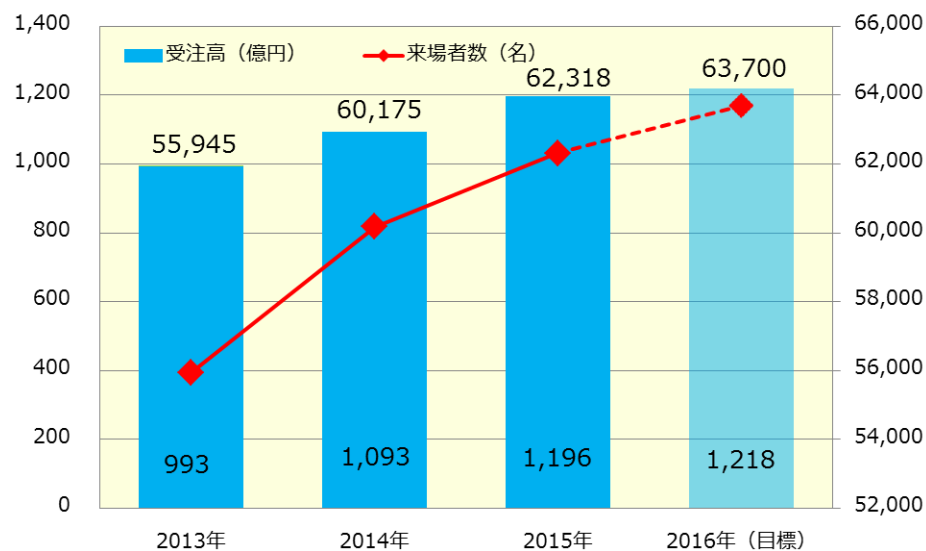


全社キャンペーンテーマ  
Smart Power & Resilience Action  
スマート&レジリエンスがあたりまえになる社会へ

地域	期日	会場	受注高目標	来場者目標
関東 G F	7/8(金)～ 7/9(土)	幕張メッセ	<b>590億円</b>	<b>22,000人</b>
東北 G F	7/22(金)～ 7/23(土)	夢メッセみやぎ	<b>83億円</b>	<b>7,800人</b>
中部 G F	9/2(金)～ 9/3(土)	ポートメッセ なごや	<b>215億円</b>	<b>11,500人</b>
九州 G F	9/9(金)～ 9/10(土)	マリンメッセ 福岡	<b>85億円</b>	<b>9,200人</b>
関西 G F	9/16(金)～ 9/17(土)	インテックス 大阪	<b>245億円</b>	<b>13,200人</b>
合計	-	-	<b>1,218億円</b>	<b>63,700人</b>



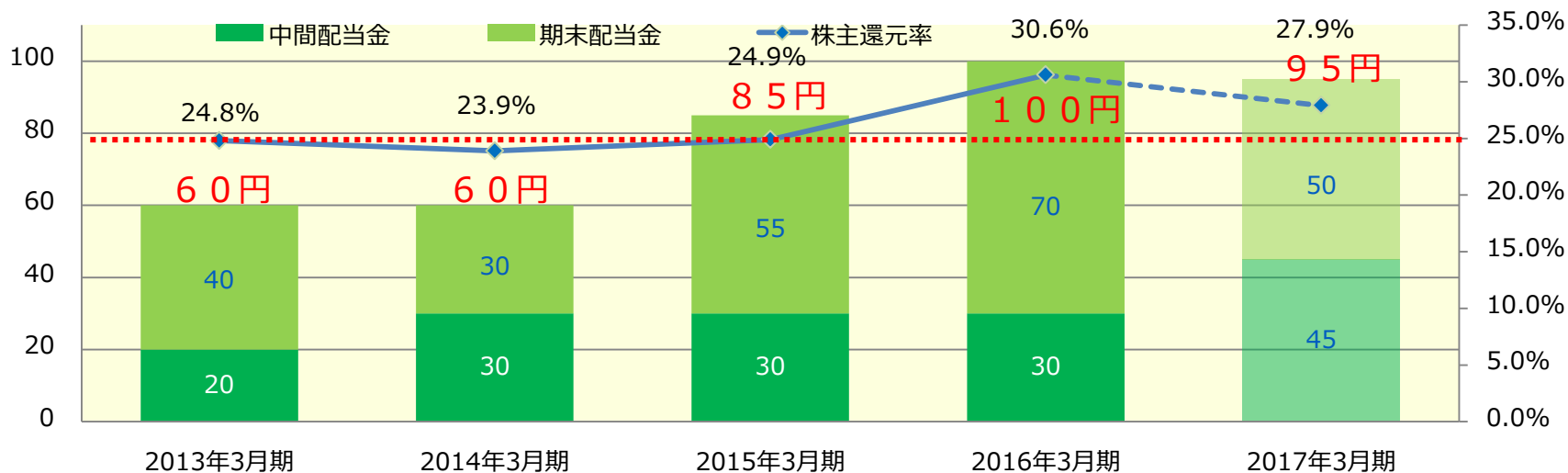
グランドフェア会場の様子



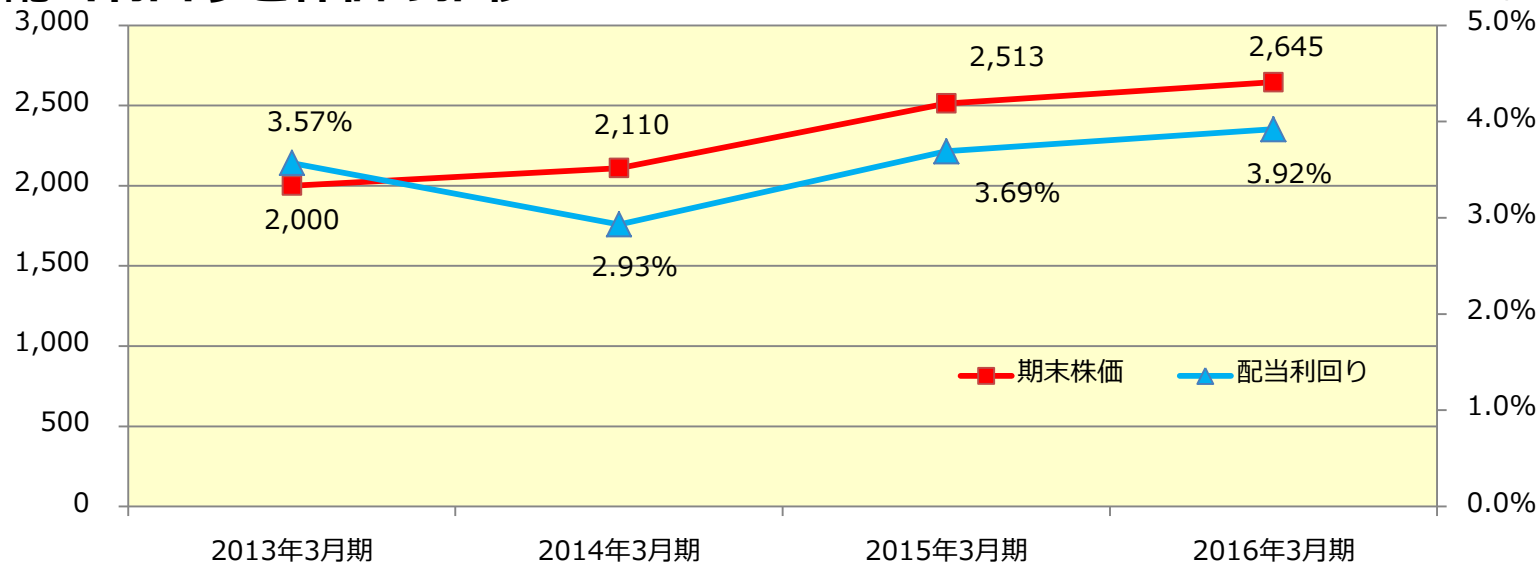
# 8. 配当金と配当利回りの推移



## ■ 1株あたり配当金と株主還元率の推移 (単位: 円)



## ■ 配当利回りと株価の推移



(注1) 1株あたり配当金は、比較を容易にするため株式併合前の配当金を10倍にしています。

(注2) 期末株価は3月末の株価を記載しています。なお、株式併合前の株価は比較を容易にするため株価を10倍にしています。

(注3) 年間配当利回り = { (中間配当金 + 期末配当金) } ÷ (中間株価 + 期末株価) ÷ 2 × 100



◆本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に含まれる当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。

これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

◆本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など将来の予測に関する内容が含まれています。

これらは弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。

弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。



**ユアサ商事株式会社** 総合企画部

〒101-8580 東京都千代田区神田美土代町7番地

TEL. 03-6369-1133 E-mail. souki@yuasa.co.jp